



エフピコグループは、全ての持続可能な開発目標の達成に向け、持続可能な食料システムへの変革のための具体的な行動を推進するために開催されるFSSへの支持を表明します。

当社グループは、持続的な食料システム、特に「持続可能な消費パターンへの移行」の実現に貢献するため、食品トレー・容器についてエフピコ方式のトレーtoトレーリサイクルの推進に取り組みます。

【具体的な取組・目標（コミットメント）】

- ① 自社エコ製品（エコトレー、エコAPET、エコOPET）の販売によるCO₂ 排出削減量を2025年3月までに23.7万tに増やし、当社グループ全体で発生するCO₂ 排出量をオフセットします。
- ② トレーtoトレーリサイクルにより製造する、エコトレーのCO₂削減効果を2023年までに37%（現行30%）に、エコAPET及びエコOPETのCO₂削減効果を2025年までに41%（現行30%）に高めます。
- ③ 食品の安全な運搬・販売及び食品ロスの削減に資する容器開発を推進します。

【関連情報】

- ・ リサイクルでカーボンオフセット宣言

https://www.fpcoplus.jp/dcms_media/other/press_keieikikaku_20210201

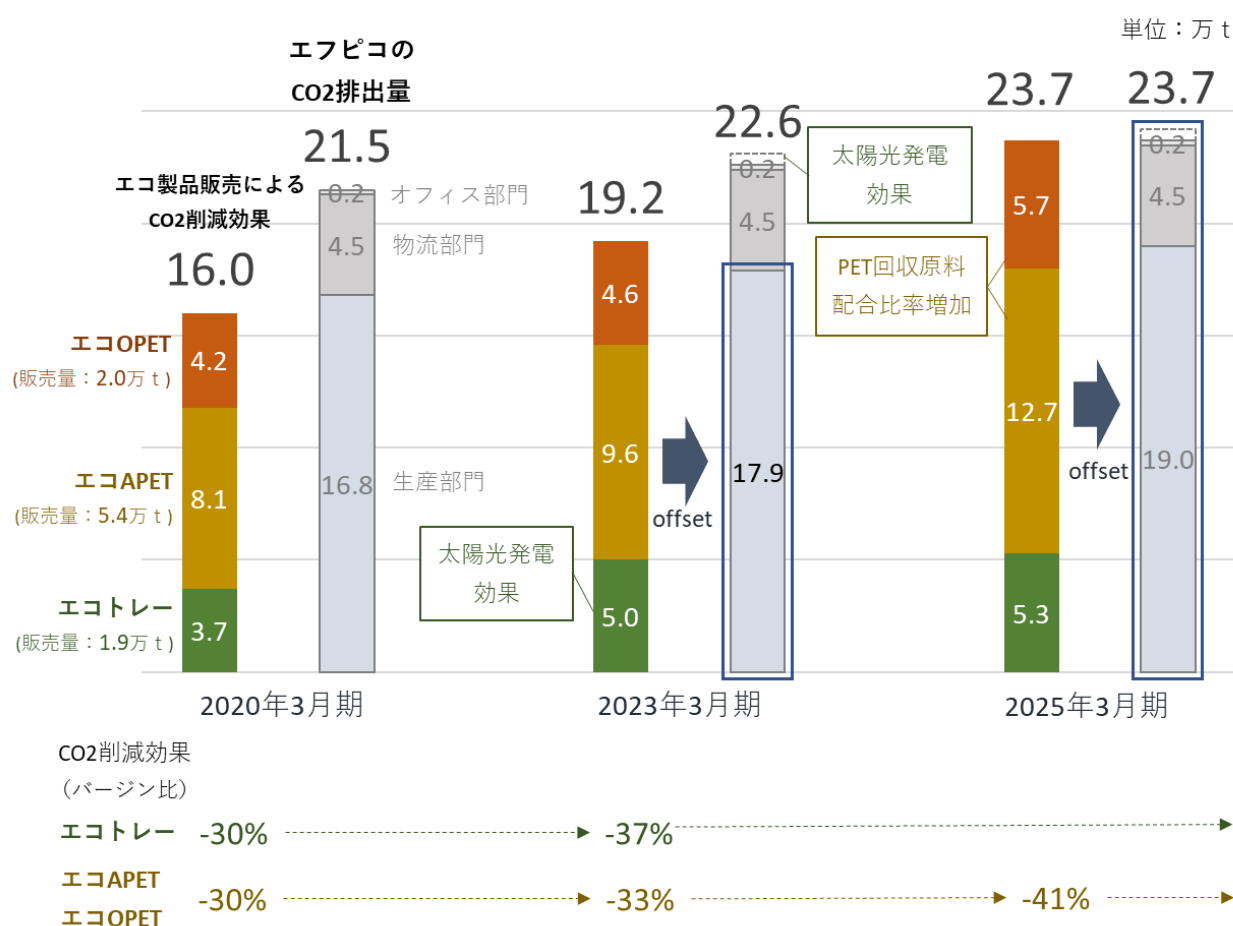
- ・ エフピコ方式の循環型リサイクル https://www.fpcoplus.jp/esg/environmenteffort/fpcoplus_recycle.html



エフピコ リサイクルでカーボンオフセット宣言

I. 自社エコ製品（エコトレー、エコ APET、エコ OPET）の販売による CO2 排出削減量を
2023 年 3 月期までに 19.2 万 t（2020 年 3 月期比+20%）に増やし
生産部門で発生する CO2 排出量をオフセットします

II. 自社エコ製品（エコトレー、エコ APET、エコ OPET）の販売による CO2 排出削減量を
2025 年 3 月期までに 23.7 万 t（2020 年 3 月期比+48%）に増やし
全社（生産・物流・オフィス）で発生する CO2 排出量をオフセットします



■ 宣言達成に向けて

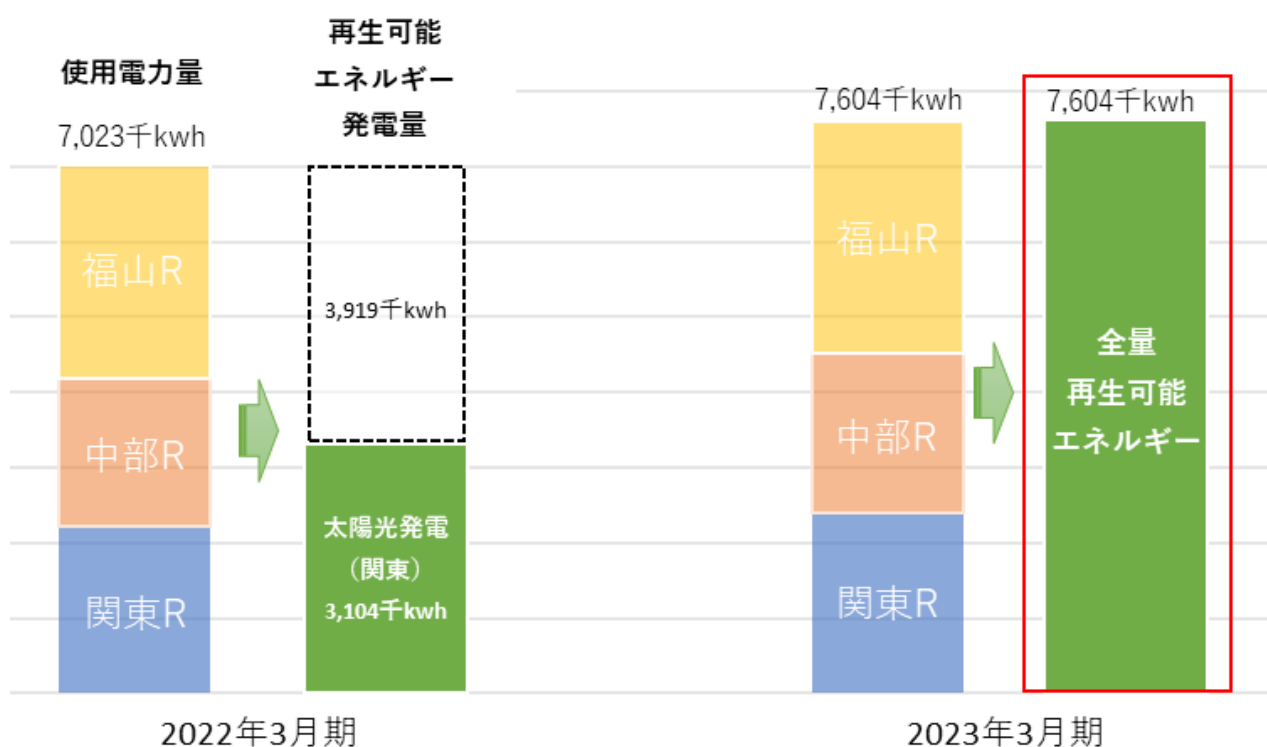
- ・使用済み PSP トレー、PET ボトルの店頭での回収量増大によりエコ原料調達拡大を図ります
- ・使用済み PSP トレーのケミカルリサイクル導入による再生材の活用拡大を検討いたします
- ・再生可能エネルギーを積極導入することにより CO2 排出量削減を図ります
- ・エコ APET、エコ OPET 製品の回収原料比率を高め CO2 削減効果の増大を図ります

【宣言Ⅰ. についての補足説明】

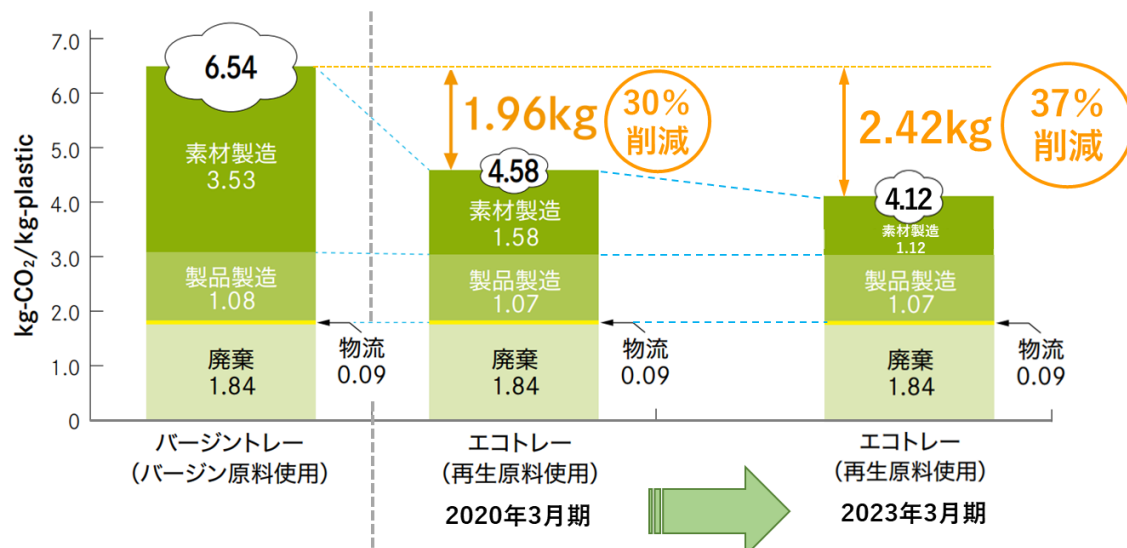
発泡トレーリサイクル工場（関東・中部・福山）で使用する電力相当量の再生可能エネルギーを
調達することにより再生原料製造時の CO2 排出量をゼロにします

◇取り組み内容

- ・2022 年 3 月期より関東八千代工場及び関東エコペット工場の屋根上において太陽光発電を実施いたします
- ・2023 年 3 月期よりその他拠点（中部エリア・関西エリア）において太陽光発電の実施を検討いたします



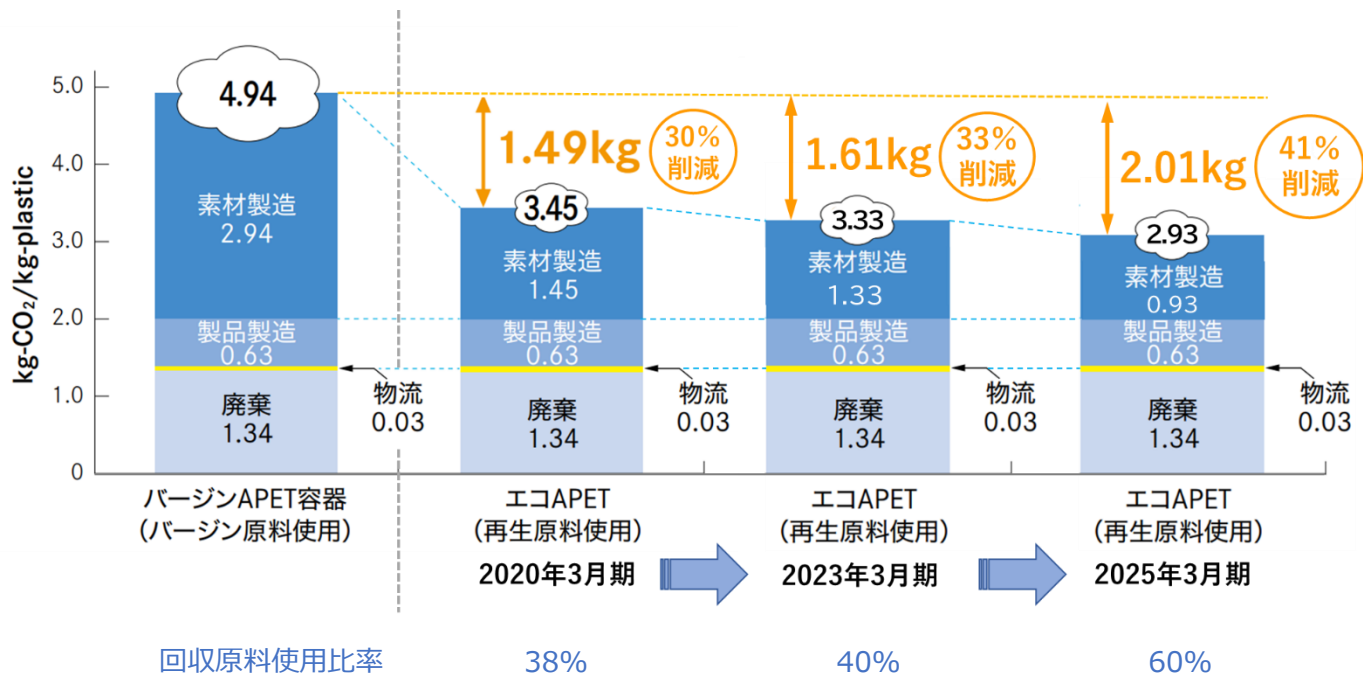
【エコトレー 1 kg あたりの CO2 削減効果】



【宣言Ⅱ．についての補足説明】

エコ APET、エコ OPET 製品の回収原料比率を高め CO2 削減効果の増大を図ります

【エコ APET 1 kg あたりの CO2 削減効果】



【エコ OPET 1 kg あたりの CO2 削減効果】

